



# 氷川町の発展を 定住促進を図れるか

河口 涼一 議員

**農産振興課長** 新規就農者支援対策は国の支援金給付制度による給付を行っており、他の担い手にも国の支援制度利用により雇用実績がある。

**商工観光課長** スマートインターチェンジも開通し、企業誘致を図り、雇用確保を進める。

**企画財政課長** 西日本高速道路㈱と共同でPRしていく。ポスターチラシ等活用する。広報誌でも啓発・広報活動をしていく。ETC助成は、現時点では計画にないもの

**議員** ①については、農業分野、商工業分野で具体的な施策や雇用実績があるか。

**議員** スマートインターチェンジが平成26年春に開通予定だが、利用車両の増加対策が必要ではないか。町民自らが積極的に利用するためにETCの購入設置助成は考えられないか。

**議員** インターチェンジ開通は活性化の起爆剤となるかも知れず、氷川町にとって新しい時代の始まりとなる。新しい時代には新たな施策政策が必要である。町民が自らセールスマンとなり通行実績を挙げるべきである。そのためには未搭載の方に町内業者から設置してもらい利用増加の呼び水としてほしい。

## スマートインターチェンジの 利用促進について



※新庁舎完成までは、宮原振興局の業務については、情報銀行で取り扱っております。

**議員** 合併から8年を過ぎ、人口が9000人を越え減少をしているが、対策は考えておられるか。

**議員** ②のリタイア後のシニア層の定住化について、この自然豊かな氷川町に移住され、都会より、はるかに安い生活コストで、割りと便利な町で、心豊かに暮らしてみませんか、そして、これまでの経験や技術を活かして貢献して頂ければ、町民

の刺激にもなり、良い方向に向かうと思う。積極的にホームページや他の広告媒体でPRをお願いしたい。

**議員** 宮原地区の住民は、役場機能が縮小され、不便になったと感じておられる。宮原振興局において行政事務のどの範囲を担っているのか本庁でなければできないものは、どういうものなのか。又、その周知を図るべきではないか。

**議員** とにかく、窓口までおいで下さい。窓口で対応または、ご案内、取り次ぎすることを住民に周知をお願いします。

## 人口減少対策について

## 宮原振興局の機能について

# そこが聞きたい 一般質問 3 議員立つ

## ■ 河口 涼一 議員

- ①人口減少対策について
- ②スマートインターチェンジの利用促進について
- ③宮原振興局の機能について



工事が進むスマートインターチェンジ（高塚地区）

## ■ 江崎 悟 議員

- ①小さな合併の成果について
- ②八代市との合併について



住民サービスの拠点、氷川町役場

## ■ 米村 洋 議員

- ①冠水（湛水）排水対策事業について
- ②二町合併について
- ③里山の道路の整備事業について



早急な対策が求められる氷川排水機場（西網道地区）

※質問と答弁の記事は、質問議員の責任でまとめたものを、広報委員会でチェックして掲載しています。写真、見出し、答弁者の役職名は広報委員会でつけました。